



DELL EMC UNITY XT ストレージ シリーズ

新しいDell EMC Unity XTストレージ アレイは、従来のDell EMC Unityモデルと比較して、最大2倍のIOPS、増加したメモリー容量、最大50%増のドライブ数を備えており、ITの変革をシンプルに実現し、データ資本の可能性を最大限に引き出すことができます。これらのAll-Flashおよびハイブリッドストレージ システムには、デュアル アクティブ コントローラー アーキテクチャとエンタープライズ クラスの機能が搭載されており、パフォーマンスを向上させ、最大5:1のデータ削減により効率性を最適化し、マルチクラウドへの移行をシンプルに実現します。

アーキテクチャ

パワフルなIntel Xeon™ プロセッサファミリーを基盤としたDell EMC Unity XTストレージ システムには、ネイティブのNAS、iSCSI、ファイバ チャネル プロトコルのコンカレント サポートが可能な、ブロック、ファイル、VMware VVolsに対応する統合アーキテクチャが実装されています。各システムは、デュアル ストレージ プロセッサ、完全な12 Gb SASバックエンド接続、Dell EMCの特許取得済みのマルチコア設計動作環境を活用して、圧倒的なパフォーマンスと効率性を実現します。追加のストレージ容量は、DAE（ディスク アレイ エンクロージャ）を介して増設されます。

物理仕様

	380F/380	480F/480	680F/680	880F/880
最小/最大ドライブ数	6/500	6/750	6/1000	6/1500
アレイ エンクロージャ	2U DPE（ディスク プロセッサ エンクロージャ）に25台の2.5インチドライブを搭載			
ドライブ エンクロージャ (DAE - ディスク アレイ エンクロージャ)	All-Flash (F) モデルで、2U 25ドライブ トレイと3U 80ドライブ トレイの2.5インチドライブをサポート。ハイブリッド モデルで、2U 25ドライブ トレイと3U 80ドライブ トレイの2.5インチドライブ、3U 15ドライブ トレイの3.5インチドライブをサポート。			
スタンバイ電源システム	Dell EMC Unityシステムには、DPE/DAEごとに2個のPS（電源）から電力が供給されます。一方の電源が取り外された場合や故障した場合は、もう一方の電源でモジュール全体に電源を供給できます。電源障害時、DPEの電源はバッテリー バックアップ (BBU) モジュールから供給されます。BBUはSPエンクロージャ内にあり、単一のモジュール（電源領域）に電力を供給します。			
RAIDオプション	1/0, 5, 6			
アレイあたりのCPU	インテルCPU x 2、アレイあたり12コア、1.7GHz	デュアル ソケット インテルCPU x 2、アレイあたり32コア、1.8GHz	デュアル ソケット インテルCPU x 2、アレイあたり48コア、2.1GHz	デュアル ソケット インテルCPU x 2、アレイあたり64コア、2.1GHz
システム メモリー/キャッシュ (アレイ単位)	128 GB	192 GB	384 GB	768 GB
最大FASTキャッシュ (アレイ単位) *	最大800 GB	最大1.2 TB	最大3.2 TB	最大6.0 TB

	380F/380	480F/480	680F/680	880F/880
合計キャッシュ*	最大928 GB	最大1.39 TB	最大3.58 TB	最大6.76 TB
最大メザニン カード (アレイ単位) **	該当なし	2	2	2
最大IO Module (アレイ単位) ***	4	4	4	4
組み込みSAS I/Oポート数 (アレイ単位)	4レーン12 Gb/秒SAS ポート x 4、BE (バックエン ド) 接続用	4レーン12 Gb/秒SAS ポート x 4、BE接続用	4レーン12 Gb/秒SAS ポート x 4、BE接続用	4レーン12 Gb/秒SAS ポート x 4、BE接続用
オプションのSAS IOポート (アレイ単位)	該当なし	4レーン12 Gb/秒SASポート x 8または8レーン12 Gb/秒SAS ポート x 4、BE接続用	4レーン12 Gb/秒SASポート x 8または8レーン12 Gb/秒SAS ポート x 4、BE接続用	4レーン12 Gb/秒SASポート x 8または8レーン12 Gb/秒SAS ポート x 4、BE接続用
12 Gb/秒SAS BEバス基本 数 (アレイ単位)	4レーン x 2	4レーン x 2	4レーン x 2	4レーン x 2
12 Gb/秒SAS BEバス最大 数 (アレイ単位)	4レーン x 2	4レーン x 6または4レーン x 2 + 8レーン x 2	4レーン x 6または4レーン x 2 + 8レーン x 2	4レーン x 6または4レーン x 2 + 8レーン x 2
FE (フロントエンド) の最大 総ポート数 (すべてのタイプ) (アレイ単位)	24	24	24	24
イニシエータの最大数 (アレイ単位)	1,024	2,048	2,048	4,096
最大FCポート数 (アレイ単位)	20	16	16	16
組み込み10GbaseTポート数 (アレイ単位)	4	該当なし	NA (北米)	該当なし
組み込みCNAポート数 (アレイ単位)	4ポート : 8/16 Gb FC**、 10Gb IP/iSCSI、または 1Gb RJ45	該当なし	NA (北米)	該当なし
1 GBASE-T iSCSI最大総 ポート数 (アレイ単位)	24	24	24	24
10/25 GbE/iSCSI最大総 ポート数 (アレイ単位)	24 - 10GbE 16 - 25GbE	24	24	24
最大容量 (未フォーマット時) ****	2.4 PB	4.0 PB	8.0 PB	16.0 PB
SANホスト最大数	512	1,024	1,024	2,048
プール最大数	20	30	40	100
LUNの最大数 (アレイ単位)	1,000	1,500	2,000	6,000
LUN最大サイズ	256 TB	256 TB	256 TB	256 TB

2 Dell EMC Unity XT シリーズ

	380F/380	480F/480	680F/680	880F/880
アレイあたりのファイル システム の最大数	1,000	1,500	2,000	4,000
ファイル システム最大サイズ	256 TB	256 TB	256 TB	256 TB
アレイ (ブロック) あたりの 接続済みスナップショットの 最大数	1,000	1500	2,000	6,000
OSのサポート	Dell EMC Simple Support Matrix (dell EMC) を参照			
<p>*ハイブリッド アレイのみ</p> <p>**ストレージ プロセッサ (SP) あたり1枚のメザニン カード (ミラーリング)。</p> <p>***ストレージ プロセッサ (SP) あたり2個のIO Module (ミラーリング)。</p> <p>****シングル モードとマルチモードのどちらでも16Gb使用可能。</p> <p>*****最大容量 (未フォーマット時) は、購入時のドライブのサイズによって異なります。</p>				

接続

NFS/SMB接続のファイルストレージと、FCおよびiSCSIホスト接続のブロックストレージの両方で、メザニンカードとIO Moduleによる接続オプションを利用できます（SPあたりのサポートされるモジュール数については上の表を参照）。

接続オプション		
タイプ	説明	詳細
メザニンカードまたはIO Module	4ポート10GBASE-Tモジュール（ファイルとブロック）	4ポート10GBASE-T Ethernet IP/iSCSIモジュール。4つの10GBASE-T EthernetポートでEthernetスイッチに銅線接続する
メザニンカードまたはIO Module	4ポート10 Gb/秒の光モジュール（ファイルとブロック）	4ポート10GbE IP/iSCSIモジュール。EthernetスイッチへのSFP+光接続、またはアクティブ/パッシブTwinax銅線接続を選択
メザニンカードまたはIO Module	4ポート25 Gb/秒の光モジュール（ファイルとブロック）	4ポート10GbE IP/iSCSIモジュール。EthernetスイッチへのSFP+光接続、またはパッシブTwinax銅線接続を選択
IOモジュール	4ポート16 Gb/秒ファイバチャンネルモジュール（ブロック専用）	4/8/16 Gb/秒対応のオートネゴシエーションを行う4つのポートを持つ4ポートFCモジュール。シングルモードとマルチモードの光SFPおよびOM2/OM3/OM4ケーブルを使用して、ホストHBAまたはFCスイッチに直接接続する
IOモジュール	4ポート12 Gb/秒SAS V3.0モジュール*	ストレージプロセッサへのバックエンドストレージ（DAE）接続用の4ポートSASモジュール。各SASポートは、ポートあたり4レーン12Gb/秒（公称スループット48Gb/秒を実現）。また、80台のドライブに対応できるDAEは、1対のSASポートを使用する8レーンの接続性を提供し、高パフォーマンスの広帯域幅を実現。
*480F/480、680F/680、880F/880 モデル		

最大ケーブル長

ショートウェーブ光OM4：125 m（16 Gb）、190 m（8 Gb）、400 m（4 Gb）、500 m（2 Gb）

バックエンド（ドライブ）接続

各ストレージプロセッサは、4レーン x 12 Gb/s SAS（シリアル接続SCSI）バスの2つの冗長ペアそれぞれの片側に接続され、ストレージプロセッサやバスの障害発生時にホストに対する継続的なドライブアクセスを提供します。すべてのモデルには4台の「システム」ドライブが必要です。サポートされるディスク最大数はプラットフォームによって異なります（前述の「物理的仕様」の表を参照）。Dell EMC Unity XT 380モデルではシステムドライブあたり107 GB、Dell EMC Unity XT 480、680、880モデルではシステムドライブあたり150 GBが、動作環境ソフトウェアとデータ構造によって使用されます。

DAE（ディスクアレイエンクロージャ）			
	25 x 2.5インチドライブ DAE	80 x 2.5インチドライブ DAE	15 x 3.5インチドライブ DAE（ハイブリッドアレイのみ）
サポートされているドライブタイプ	フラッシュ/SAS	フラッシュ/SAS	NL-SAS
コントローラーインターフェイス	12 Gb SAS	12 Gb SAS	12 Gb SAS

対応メディア

システムカテゴリー	タイプ	使用法/目的	標準容量	フォーマット済み容量*	インターフェイス	DPE 25ドライブ	25 x 2.5インチドライブ DAE	80 x 2.5インチドライブ DAE	15 x 3.5インチドライブ DAE
All-Flash	SSD (SAS)	All-Flash	800 GB	733.5 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
All-Flash	SSD (SAS)	All-Flash	1.92 TB	1751.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
All-Flash	SSD (SAS)	All-Flash	3.84 TB	3503.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
All-Flash	SSD (SAS)	All-Flash	7.68 TB	7006.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
All-Flash	SSD (SAS)	All-Flash	15.36 TB	14014.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	SSD (SAS)	FAST キャッシュおよび混在プール	400 GB	366.7 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	SSD (SAS)	混在プール	800 GB	733.5 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	SSD (SAS)	混在プール	1.6 TB	1467.45 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	SSD (SAS)	混在プール	3.2 TB	2919.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	SSD (SAS)	All-Flash	7.6 TB	7006.9 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	10K HDD (SAS)	混在プール	600 GB	536.7 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	10K HDD (SAS)	混在プール	1.2 TB	1100.5 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	10K HDD (SAS)	混在プール	1.8 TB	1650.8 GB	12 Gb SAS	✓	✓	✓	
ハイブリッド	7.2K HDD (NL-SAS)	混在プール	4.0 TB	3668.6 TB	12 Gb SAS				✓
ハイブリッド	7.2K HDD (NL-SAS)	混在プール	6.0 TB	5505.0 TB	12 Gb SAS				✓
ハイブリッド	7.2K HDD (NL-SAS)	混在プール	12.0 TB	10948.7 TB	12 Gb SAS				✓

*GB = Base2 GiB (GiB = 1024 x 1024 x 1024)

すべてのドライブが520バイト/セクターです。

すべてのドライブがnon-SEDです。静止データ暗号化はストレージコントローラーを介して実行されます。

Dell EMC Unity OEプロトコルおよびソフトウェア機能

幅広いプロトコルと、さまざまなソフトウェアスイート、プラグイン、ドライバ、パックにより提供される高度な機能をサポートしています。

サポートされるプロトコルおよび機能		
SMBプロトコル用のABE (Access Base Enumeration)	ARP (アドレス解決プロトコル)	ブロックプロトコル : iSCSI、Fibre Channel (FCP SCSI-3)
自己管理の暗号化キー付のコントローラベースのD@RE (静止データ暗号化)	リーフノードまたはスタンドアロンルートサーバーとしてのDFS分散ファイルシステム (Microsoft)	ファイバチャネルとiSCSIの直接ホスト接続
DAC (ダイナミックアクセス制御)、クレームをサポート	FSN (Fail Safe Networking)	ICMP (Internet Control Message Protocol)
Kerberos認証	KMIP (Key Management Interoperability Protocol) 準拠のD@RE向け外部キーマネージャ	LDAP (Lightweight Directory Access Protocol)
LDAP SSL	ファイルアクセス用のリンク統合 (IEEE 802.3ad)	NLM (Network Lock Manager) v1、v2、v3、v4
管理およびデータ用ポート (IPv4およびIPv6)	UNIXおよびSMBクライアント (Microsoft、Apple、Sambaなど) 向けNASサーバーのマルチプロトコル	NDMP (Network Data Management Protocol) V1~V4、2方向と3方向
NIS (Network Information Service) クライアント	NSM (Network Status Monitor) V1 NSM (Network Status Monitor) V1	NTP (Network Time Protocol) クライアント
NFS v3/v4セキュアサポート	NTLM (NT LAN Manager)	Portmapper V2
REST API : HTTPリクエストを使用して管理可能なオープンAPI	RoHS (特定有害物質使用制限) へのコンプライアンス	Microsoft Hyper-V対応RSVD v1
SMBプロトコル対応シンプルホームディレクトリアクセス	SMI-S v1.6.0対応Dell EMC Unityブロックおよびファイルのクライアント	SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)
SNMP (Simple Network Management Protocol) v2cおよびv3	仮想LAN (IEEE 802.1q)	VMware仮想ボリューム (VVols) 2.0

セキュリティとコンプライアンス (Dell EMC UnityVSAを除くすべてのDell EMC Unity XTシステムに適用)
共通基準 (計画中)
自己管理の暗号化キー付のコントローラベースのD@RE (静止データ暗号化)
KMIP準拠のD@RE向け外部キーマネージャ
FIPS 140-2レベル1の妥当性検査 (計画中)
IPv6とデュアルスタック (IPv4) 動作モード
ネイティブのSHA2証明書
セキュリティ技術導入ガイド/セキュリティ要件ガイド (STIG/SRG)
TLS 1.2のサポートとTLS 1.0の無効化
ファイルレベル保存期間設定 : FLR-E (Enterprise) とFLR-C (Compliance) 。SEC Rule 17a-4 (f) の要件を満たす

ソフトウェア

<p>オールインワン ベース ソフトウェア</p>	<p>管理ソフトウェア：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Unisphere : Element Manager • Unisphere Central : 統合ダッシュボードとアラート • CloudIQ : クラウド ベースのStorage Analytics • シン プロビジョニング • 動的プール : All-Flashアレイ (AFA) のみ • データ削減 : ゼロ検出/重複除外/圧縮 (ハイブリッド アレイのAFAとAll-Flashプール、ブロックとファイル) • Proactive Assist : リモート サポート、オンライン チャット、サービス リクエストのオープンなどを構成 • QoS (ブロックとVVols) • Dell EMC Storage Analytics Adapter for VMware® vRealize™ • パブリックプライベート クラウドのファイルとブロック階層化/アーカイブ (Cloud Tiering Appliance) • ファイル レベル保存期間設定 (FLR-EとFLR-C) <p>統合型プロトコル：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイル • ブロック • VVOL <p>ローカル保護：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自己管理または外部の鍵管理によるコントローラ ベースの暗号化 (オプション) • ローカルのポイント イン タイム コピー (スナップショットとシン クローン) • AppSync Basic • Dell EMC Common Event Enabler、AntiVirus Agent、Event Publishing Agent <p>リモート保護：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ネイティブ非同期ブロックおよびファイル レプリケーション • ネイティブ同期ブロックおよびファイル レプリケーション • MetroSync Manager (同期ファイル レプリケーション セッションを自動化するオプションのソフトウェア) • Snapshot Shipping • Dell EMC RecoverPoint Basic <p>移行：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dell EMC VNXからのネイティブなブロックおよびファイル移行 • SAN Copyブル : サード パーティ製アレイからの統合型ブロック移行 <p>ハイブリッド アレイのパフォーマンス最適化：</p> <ul style="list-style-type: none"> • FASTキャッシュ • FAST VP
<p>インターフェイス プロトコル</p>	<p>NFSv3、NFSv4、NFSv4.1、CIFS (SMB 1) 、SMB 2、SMB 3.0、SMB 3.02、SMB 3.1.1、FTPおよびSFTP、FC、iSCSI、VMware仮想ボリューム (VVols) 2.0に対応</p>
<p>オプション ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> • AppSync Advanced • Data Protection Suite : バックアップ、アーカイブ、コラボレーション ソフトウェア • Dell EMC RecoverPoint Advanced • PowerPath Migration Enabler • PowerPath Multipathing • VPLEX
<p>注 : ソフトウェア ライセンスの詳細については、EMCセールス担当者までお問い合わせください。</p>	

仮想化ソリューション

Dell EMC Unityは、さまざまなソフトウェアスイートおよびパックにより、幅広いプロトコルと高度な機能をサポートしています。次にその一部を紹介します。

- Dell ESI (EMC Storage Integrator) : Hyper-VおよびSharePoint向けMicrosoft管理コンテキスト (Systems Center) 内におけるプロビジョニングに対応
- OpenStack Cinderドライバ : OpenStack環境内のブロック ボリュームのプロビジョニングと管理に対応
- OpenStack Manilaドライバー : OpenStack環境内の共有ファイル システムの管理に対応
- VMware vSphere™向けDell EMC Virtual Storage Integrator (VSI) : プロビジョニング、管理、クローン作成に対応
- VMware SRM (Site Recovery Manager) の統合 : 迅速で確実なディザスタリカバリを可能にする、フェールオーバーおよびフェールバックを管理
- 仮想化API統合 : VMware : VAAIとVASA。Hyper-V : ファイルのODX (オフロード データ転送) とオフロード コピー

電力仕様概要

表示されているすべての電力数値は、20°C～25°Cの周辺温度環境において、最も条件が厳しい製品構成で正常動作する最大値を示しています。

高い周辺温度環境で実行された場合、示されているシャーシの電力数値は増加する可能性があります。

ディスク プロセッサ エンクロージャ (DPE)				
	380F/380 DPE 25 2.5インチ SFFドライブと4個の IO Module	480F/480 DPE 25 2.5インチ SFFドライブと4個の IO Module	680F/680 DPE 25 2.5インチ SFFドライブと4個の IO Module	880F/880 DPE 25 2.5インチ SFFドライブと4個の IO Module
電源				
ACライン電圧	AC 100～240 V±10%、単相、47～63 Hz			
ACライン電流 (動作時 最大電流)	AC 100 Vで最大10.07 A、 AC 200 Vで最大5.04 A	AC 100 Vで最大10.6 A、 AC 200 Vで最大5.3 A	AC 100 Vで最大11.72 A、 AC 200 Vで最大5.86 A	AC 100 Vで最大14.41 A、 AC 200 Vで最大7.2 A
電力消費量 (動作時最大 電力消費量)	AC 100 Vで 最大1007 VA (970.5 W) AC 200 Vで最大1007 VA (970.5 W)	AC 100 Vで 最大1060 VA (1050 W) AC 200 Vで最大1060 VA (1050 W)	AC 100 Vで 最大1172 VA (1161 W) AC 200 Vで最大1172 VA (1161 W)	AC 100 Vで 最大1440.77 VA (1411.96 W) AC 200 Vで最大1440.77 VA (1411.96 W)
力率	全負荷のときAC 100/200 Vで最小0.95			
発熱量 (動作時最大 発熱量)	3.49 x 10 ⁶ J/時間、 (3,311 Btu/時間) AC 100Vで最大; 3.49 x 10 ⁶ J/時間、(3,311 Btu/ 時間) 最大 (100V)	3.78 x 10 ⁶ J/時間、 (3,581 Btu/時間) AC 100Vで最大; 3.78 x 10 ⁶ J/時間、(3,581 Btu/ 時間) 最大AC 200V	4.18 x 10 ⁶ J/時間、 (3,960 Btu/時間) AC 100Vで最大; 4.18 x 10 ⁶ J/時間、(3,960 Btu/ 時間) 最大AC 200V	5.08 x 10 ⁶ J/時間、 4,818 Btu/時間) AC 100V で最大; 5.08 x 10 ⁶ J/時間、(4,818 Btu/ 時間) 最大AC 200V
突入電流	電圧を問わず、電源コードあたり45 Apk (コールド)			

起動時サージ耐量	電圧を問わず、電源コードあたり120 Apk (ホット)	
AC保護	各電源で15 Aヒューズ (単一コード)	各電源で20 Aヒューズ (単一コード)
AC入力タイプ	IEC320-C14アプライアンス カ プラー、電源領域あたり1口	IEC320-C14アプライアンス カプラー、電源領域あたり1口 (高圧電源) IEC320-C20アプライアンス カプラー、電源領域あたり1口 (低圧電源)
瞬断許容時間	最短10ミリ秒	
カレント シェアリング	電源間全負荷の±5%	

寸法				
重量 (kg/ポンド)	空の場合 : 24.60/54.11	空の場合 : 25.90/57.10	空の場合 : 25.90/57.10	空の場合 : 25.90/57.10
垂直サイズ	2 NEMA単位	2 NEMA単位	2 NEMA単位	2 NEMA単位
高さ (cm/インチ)	8.88/3.5	8.72/3.43	8.72/3.43	8.72/3.43
幅 (cm/インチ)	44.76/17.62	44.72/17.61	44.72/17.61	44.72/17.61
奥行 (cm/インチ)	60.9/24.0	79.55/31.32	79.55/31.32	79.55/31.32
注 : DPEとDAEの電力消費量の値は、フル装備のエンクロージャ構成 (電源、ドライブ、I/Oモジュール) に基づきます。				

DAE (ディスクアレイ エンクロージャ)			
	25 x 2.5インチ ドライブ DAE	80 x 2.5インチ ドライブ DAE	15 x 3.5インチ ドライブ DAE
電源			
ACライン電圧	AC 100~240 V±10%、単相、47~63 Hz		
ACライン電流 (動作時最大電流)	AC 100 Vで最大4.50 A、 AC 200 Vで最大2.40 A	AC 100 Vで最大13.18 A、 AC 200 Vで最大6.59 A	AC 100 Vで最大2.90 A、 AC 200 Vで最大1.60 A
電力消費量 (動作時最大 電力消費量)	AC 100 Vで最大453.0 VA/432.0 W AC 200 Vで最大485.0 VA/427.0 W	AC 100 Vで最大1318.0 VA/1233.0 W AC 200 Vで最大1318.0 VA/1233.0 W	AC 100 Vで最大287.0 VA/281.0 W AC 200 Vで最大313.0 VA/277.0 W
力率	全負荷のとき100 V/200 Vで最小0.95		全負荷のとき100 V/200 Vで最小0.90
発熱量 (動作時最大発熱量)	AC 100 Vで最大1.56 x 10 ⁶ J/時間 (1,474 BTU/時間) AC 200 Vで最大1.54 x 10 ⁶ J/時間 (1,457 BTU/時間)	AC 100 Vで最大4.43 x 10 ⁶ J/時間 (4,207 BTU/時間) AC 200 Vで最大4.43 x 10 ⁶ J/時間 (4,207 BTU/時間)	AC 100 Vで最大1.01 x 10 ⁶ J/時間 (959 BTU/時間) AC 200 Vで最大1.00 x 10 ⁶ J/時間 (945 BTU/時間)
突入電流	電圧を問わず、電源コードあたり30 Apk (コールド)	電圧を問わず、電源コードあたり45 Apk (コールド)	AC 240 Vで電源コードあたり最大30 A (コールド) (1/2周期)
起動時サージ耐量	電圧を問わず、電源コードあたり40 Apk (コールド)	電圧を問わず、電源コードあたり120 Apk (ホット)	電圧を問わず、電源コードあたり最大 25 Apk
AC保護	各電源で15 Aヒューズ (単一コード)		各電源で10 Aヒューズ (単一コード)
AC入力タイプ	IEC320-C14アプライアンス カプラー、電源領域あたり1口		
瞬断許容時間	最小12ミリ秒	最小10ミリ秒	最小30ミリ秒
カレント シェアリング	電源間全負荷の±5%		ドループロードシェアリング
重量および寸法			
重量 (kg/ポンド)	空の場合：10.0/22.1 フル：20.23/44.61	空の場合：11.33/25 フル：58.9/130	空の場合：14.5/32 フル：30.8/68
垂直サイズ	2 NEMA単位	3 NEMA単位	3 NEMA単位
高さ (cm/インチ)	8.46/3.40	13.21/5.20	13.33/5.25
幅 (cm/インチ)	44.45/17.5	44.70/17.6	44.45/17.5
奥行 (cm/インチ)	33.02/13	76.20/30	35.56/14
注：DPEとDAEの電力消費量の値は、フル装備のエンクロージャ構成 (電源、ドライブ、I/Oモジュール) に基づきます。			

キャビネット	
	標準40Uキャビネット
ACライン電圧	AC 200~240 V±10%、単相、47~63 Hz
電源構成	それぞれ冗長化された1個、2個、3個、4個の電源ドメイン

電源入力数	2口、4口、6口、8口（ドメインあたり2口）
プラグのタイプ	NEMA L6-30PまたはIEC309-332 P6またはIP57（オーストラリア）
入力電源の容量	ドメイン×1 : 4,800 VA @ AC 200 V、5,760 VA @ AC 240 V ドメイン×2 : 9,600 VA @ AC 200 V、11,520 VA @ AC 240 V ドメイン×3 : 14,400 VA @ AC 200 V、17,280 VA @ AC 240 V ドメイン×4 : 19,200 VA @ AC 200 V、20,040 VA @ AC 240 V
AC保護	各分岐電源に30 Aの回路ブレーカー
40Uキャビネット寸法	高さ : 75インチ（190.8 cm）、幅 : 24インチ（61.1 cm）、奥行 : 39インチ（99.2 cm）、重量（キャビネットのみ） : 380ポンド（173 kg）

動作環境

Dell EMC Unity XT 480F/480 – 880F/880モデルはASHRAE機器クラスA3に準拠し、380F/380モデルはASHRAE機器クラスA4に準拠しています。

	説明	仕様
推奨動作範囲	装置が最も確実に動作し、かつ適切なエネルギー効率でデータセンターの運用を達成する制限範囲。	露点5.5°C (59°F) で18°C～27°C (64.4°F～80.6 °F)
継続許容動作範囲	データセンター全体の効率性を高める目的でデータセンター エコ技術（フリー クーリングなど）を導入した場合に、装置の吸気状態が推奨範囲に収まらなくなっても動作が継続される範囲。この範囲内であれば、時間単位の制限なしで装置が動作します。	相対湿度20%～80%で5°C～35°C (50°F～95°F)、最大露点（最大湿球温度）21°C (69.8°F)。950 mを超える高度では、最大許容乾球温度が300 mごとに1°C (3117フィートを超える高度で、547フィートごとに1°F) 低くなります。
異常動作範囲（逸脱制限あり）	1日のうちの特定の時間帯や1年のうちの特定の時期に、装置の吸気状態が継続許容範囲に収まらなかった場合でも、拡張された異常範囲には収まっている状態。この範囲内であれば、年間動作時間の10%までは装置が動作します。	露点-12°Cで35°C～40°C（装置の直射日光暴露なきこと）、露点24°C（最大湿球温度）で相対湿度8%～85%。継続許容範囲（10°C～35°C）から外れても、5°C～40°Cの範囲内であれば、年間動作時間の10%まではシステムの動作が継続されます。温度が35°C～40°C（95°F～104°F）の場合、950 mを超える高度では、最大許容乾球温度が175 mごとに1°C（3117フィートを超える高度で、319フィートごとに1°F）低くなります。
例外動作範囲（逸脱制限あり） ASHRAE 4のみ	1日のうちの特定の時間帯や1年のうちの特定の時期に、装置の吸気状態が継続許容範囲に収まらなかった場合でも、拡張された例外範囲には収まっている状態。この範囲内であれば、年間動作時間の1%までは装置が動作します。	露点-12°Cで40°C～45°C（装置の直射日光暴露なきこと）、露点24°C（最大湿球温度）で相対湿度8%～90%。継続許容範囲（10°C～35°C）から外れても、5°C～45°Cの範囲内であれば、年間動作時間の1%まではシステムの動作が継続されます。温度が35°C～45°C（95°F～104°F）の場合、950 mを超える高度では、最大許容乾球温度が125 mごとに1°C（3117フィートを超える高度で、228フィートごとに1°F）低くなります。
温度勾配		20°C/時（36°F/時）
高度	最大動作	3050m（10,000フィート）

適合文書

この情報技術機器は、電磁両立性（EMC）および本製品が販売されている国における製品安全規制/基準に準拠しています。Dell EMCのコンプライアンスは、FCCパート15のCISPR32/CISPR24規格およびEN55032/EN55024規格に基づくもので、該当する国際的な変則基準も含まれます。EMCに準拠するClass A製品は、ビジネス、産業、および商業環境での使用目的に販売しています。製品の安全性コンプライアンスは、IEC/EN 60950-1規格およびIEC/EN 62368-1規格に基づくもので、該当する国内的な変則基準も含まれます。

この情報技術機器はEU RoHS Directive 2011/65/EUに準拠しています。

本製品で使用されている個々のデバイスは、それぞれのデバイスのレーティング ラベルに貼付されている独自の規制モデルの鑑定者によって承認を受けており、このデータ シートに記載されているマーケティングまたは製品ファミリーの名前と異なる場合があります。

詳細情報については、<https://support.emc.com>の [Safety & EMI Compliance Information] タブをご覧ください。

Dell EMC、Dell EMCのロゴ、AppSync、CloudIQ、Data Protection Suite、EMC2、Dell EMC Unity、Unisphere、Dell EMC RecoverPoint、PowerPath、VPLEXは、Dell EMCの登録商標または商標です。VMware、vCenter、vSphere、VMwareのロゴは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc.の登録商標または商標です。

Dell EMCは、この資料に記載される情報が発行日時点で正確であるとみなしています。この情報は予告なく変更されることがあります。



Dell EMC Unityソリューションの[詳細情報](#)



Dell EMCエキスパートに[問い合わせ](#)